

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	スパーク衣笠
------	--------

公表日 2025年3月23日

利用児童数 17

回収数 6

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	4	1		1	体が大きくなってきたので、室内だとスペースが狭くなりました。	もともとスパークのプログラムが未就学児を中心に想定していることもあり、就学児のお子様には面積的に狭いと感じられることがあるかもしれません。シェアの組み合わせなども引き続き工夫していきたいと思います。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	4	2			成長（年齢）に応じた課題があったらいいと思います。	お子様の発達段階に応じた課題をさらにきめ細かく考えていきたいと思っています。
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	4	2			時間の入れ替え時に、10分くらい換気や床の清掃の時間を設けてほしいです	運営上、土曜日の午後以外は各回の入れ替え時がどうしても連続になってしまっています。その日の最後の療育が終了した際はきちんと清掃をしておりますので、ご安心いただければと思います。
適切な 支援の 提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	4	2				
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	5	1				
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	5	1				
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	5	1				
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	5	1				
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	3	3				
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	1	1	1	日曜日に利用しておりますし、地域の子どもとの交流は保護者が必要を感じません。	子ども家庭庁により定められた「放課後等デイサービスガイドライン」では共生社会実現に向けた地域交流が推奨されているため、実情に応じてインクルーシブな事業運営を模索していきたいと思っています。
	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	6					
	13 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	5			1		
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。		2	2	2	zoomでの講演会視聴があったと思います。	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	4	1		1		
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	6					

保護者への説明等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。				2	4	たまたに兄弟を連れてきている利用者がいますが、施設の利用目的には反していると思います。利用者は療育プログラムに応じて、市から認定を受けて子どもの施設及びスタッフです。健常者である兄弟の入室は控えるべきだと思います。一緒にきたのなら外で待つか、待合室に引き籠らせるかするべきです。利用者と兄弟が室内に散らばれば、広さに限りがある教室は満杯ですし、ぶつかるなどの事故も起こりかねません。また、連れてきた保護者も何を勘違いしているのか、兄弟が利用者と一緒に遊んでいると目を離してスマホに目を落としたり、兄弟は利用者ではありませんから、保護者が見るべきだと思います。	ご意見の通り、施設が支援の中心とするのは受給者証の対象となるお子様です。しかしながら、児童発達支援と放課後等デイサービスは「家族支援」を大きな目的としています。きょうだいを連れてくることで保護者様の負担が軽くなる、きょうだいのストレスが緩和されるなどの支援効果があるため今後も受け入れていきます。ただ、ご指摘のとおり安全管理は最も優先度が高い事項であります。そのためきょうだい児の利用においては、保護者様に安全管理を徹底していただくことを改めてお伝えしていきたいと思ひます。	
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	5				1			
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思ひますか。	5	1						
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	4	1			1			
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思ひますか。	3	3						
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	3	2			1			
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	4	2						
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思ひますか。	2	4						
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思ひますか。	4	1			1			
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	6							
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	6							
	29	事業所の支援に満足していますか。	4	2						